

つなぐ

大人だから？ 子どもだから？

いつの間にか夏休みも終わり、子どもたちはしばらくぶりの友人との再会やしばらく離れたかった宿題の提出に一喜一憂。地域の皆さんによる朝夕の見守りも再開され、夏休みで少し成長した子どもたちの姿を目にされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

公民館で催しを計画する時、特に子ども対象の場合は「できるかどうか」を考慮します。ときには難しい内容の場合もあります。ときには難しい内容の場合もありますが、そういう時にこちらの想像を超えてくれるのもまた子どもたちです。

「子どもチャレンジ隊」小学生ウルトラクイズ」では、順位発表で子どもたちが、8組中3位、2位でも悔しがっていたのが印象的でした。問題の難しさに投げ出さず、挑戦を重ねたからこそその姿に、頼もしさすら感じました。

大人は、子どもの頃に出来なかった事ができるようになっています。だから子どもは大人に劣るのでしょうか？いいえ、子どもにも優れていることがきっとあります。そしてそれは、子どもだからこそ、なのかもしれません。

館長 清原 弘章

平成 30 年
秋号
(通算第 14 号)

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団

富雄公民館

奈良市鳥見町二丁目9番地

0742 (43) 5386

〒631-0065



砂糖や添加物を使わず、自然な甘さにこだわったアップルパイは、アメリカ生まれ。

アメリカ菓子のイメージを爽やかに裏切る「ジュリアンパイ・ジャパン（学園大和町）」のパイは、甘党もそうでない人も唸らせる、安定感ある美味しさです。アメリカで有名なアップルパイ専門店の日本第一号店が、なぜ大都市ではなく、この町にあるのでしょうか。女性オーナーの片山順實（かたやまじゅんみ）さんに話をうかがいました。

ソウル生まれの片山さんが来日したのは30年前。韓国の貿易会社を退職し、慣れない日本語と異国での結婚や子育てに奮闘しながら10年を過ごしました。

40歳を目前に考え続けたのは、「これからの人生をどう生きるか」。そんなある日、偶然テレビに映ったアップルパイに心をつかまれました。無類のお菓子好きだった片山さん。以前アメリカで食べた味を思い出し、砂糖で煮詰めた一般的なそれとは違う、本物のアップル

あきらめなかったアップルパイ



パイを作りたいと思いを立ちます。ジュリアンパイ。その言葉だけを頼りに単身アメリカへ。躊躇のない判断力と、瞬発力。
「私に『また後で』は無いのです(笑)」と。
その後、日米往復生活が始まりました。パイづくり修行に励む日々。

また日本に帰れば主婦業が待っています。正規の日本店として契約を取りたい一心で通い詰めました。しかし、話は遅々として進みません。現地本店には、他国店舗の前例も輸出のノウハウを持つスタッフもいない。日本で片山さんが作るための材料が、海を越えなければ開業できない。気が付けば7年が過ぎていました。

諦めようとは思わなかったのでしょうか。「迷いはありませんでした。仕事は目的を達成するまでの道のりが面白い。」一途な熱意に負けて本店が出した契約条件は、輸入にかかる税関などの事務手続き一切を片山さんが請け負うこと。普通ならとうてい無理な条件。ところが、ここでも持ち前のバイタリティと貿易会社勤務で得た知識を生かし、膨大な資料作成と交渉を

クリアします。そしてついに、念願のジュリアンパイ日本店が誕生しました。

結婚から二つの海を越えて、家庭と仕事を両立させた片山さんには、好きな言葉がありました。アイルランドの文学者、ジョージ・バーナード・ショアの墓石に刻まれた本人最期の言葉。【もたもたしてるうちに、私も死んでしまったのだ】。



「名作を残した偉人でさえ死を前に後悔するのなら、凡人はなおさら一日も無駄にできない」と、片山さんは笑います。不思議なのは、壮絶なエピソードとは対極に感じる柔らかな穏やかな、その雰囲気。

「無理はしてないの。人生は、なるようになつてる。自分の許容範囲を知り、長い時間をかけて努力するから」そんな片山さんの夢は、日本での店舗拡大。大手フランチャイズのように資金が前提の暖簾分けではなく、「いつか自分のように気持ちひとつで飛び込んでくる人がいたら、喜んで応援したい」
『また後で』のない人生の体現者、片山さんの『またいつか』には、現実味があります。(泉)

子どもチャレンジ隊

小学生ウルトラクイズ

今年のチャレンジ隊は、富雄北・鳥見・三碓・富雄第三の4つの小学校の4〜6年生3名一組が、早押し、バラまきなどのクイズやミニゲームに挑戦。知識だけでは解けないクイズ王の出す問題に見事勝ち上がったのは富雄第三小の4年生チーム。後日、なら



どつとFMに出演し、クイズを解く中で考えたこと、将来の夢を語りました。

こんなことがありました

たべるをしゃべる昼食会

毎回食に関するテーマを決めて、エピソードと昼食を持ち寄るお話し



の会として始めました。初回のお話

こんな講座をやります！

地域と自主グループと公民館がいっしょに行う、2年に1度のお祭りです。学習発表、作品展示、活動体験、料理販売、地域で活動する団体によるコンサートなど盛りだくさんの2日間。ご家族みんなどうぞ。

※ 内容により、開催時間等が異なります。詳しくは別途チラシをご参照ください。

10/27(土) 10時~16時
10/28(日) 10時~15時



12/1(土) 10時~12時
12/15(土) 10時~12時
12/15(日) 10時~13時

ホームページ掲載は11月初旬

今日から美味しい夫婦時間

講師：パートナーシップデザインオフィス 坪井 秀樹 さん・坪井 美佐 さん

定員：奈良市在住・在勤の、子育てが一段落した夫婦 8組 (16人)

費用：1,000円 (夫婦2人分) / 締切：11/20(火) (多い場合抽選)

人生で一番長い期間を共にするのは夫婦。その夫婦関係の質を向上させるべく、脳科学に基づいた円満夫婦塾などに定評がある坪井美佐さんと、自分と家族が幸せになるためのポイントをまとめた著書が好評の、坪井秀樹さんご夫婦に学びます。講座の2回目には、包丁いらず3分のできる男性料理の実習もあります。

お申込みは富雄公民館ですが、会場は西部公民館になります。

お申込み方法

1. 往復はがき…「講座名」「氏名、ふりがな」「年齢」「性別」「住所」「電話番号」を記入し、富雄公民館へ
2. ホームページ…「まなぶなら (http://manabunara.jp)」の「講座案内」をクリック
→「富雄公民館」をチェックして「検索」 (または左のQRコードを携帯等で読取る)
→各講座のページの下部にある「参加申込」をクリック
→必要事項を記入して「確認」をクリック →確認画面の下部にある「送信」をクリック
3. 富雄公民館の窓口…窓口で専用用紙に記入 (返信用のはがきが 1講座1人1枚 必要)



はじめまして



みなさんはじめまして。7月より富雄公民館の臨時職員として勤めております。倉家新哉(くらやしんや)です。どうぞよろしくお願ひいたします。

編集後記

九月の声を聞きましたが、まだまだ暑さが続きそうな気配です。

私の子どもの頃の夏の王者といえば茶褐色のアブラゼミでしたが、最近ではクマゼミが多くなった気がします。クマゼミの生息地は、かつては気温の高い九州地方と言われていました。以前に比べて気温が上がったことは、日中に鳴いているセミのほとんどがクマゼミになってしまったことでも分かります。

でも、夕方に鳴くヒグラシや、色づいた稲穂の上を飛ぶアキアカネに遭うと、気分が少し涼しくなるかもしれませんね。

倉家新哉